

暗唱のすすめ

〈古文編⑨〉

徒然草 つれづれぐさ

兼好法師 けんこうほうし



つれづれなるままに、日暮らし、すずりに向かひて、
ひく む イ

心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書き
こころ か

つくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。
シユウ オ